



米沢有為会
 仙台支部だより

第 28 号

令和4年12月30日

発行者

(公社)米沢有為会仙台支部

支部長 甲 國信

仙台市青葉区角五郎2-6-21

TEL 022-222-4790

勢揃いした7名の仙台興譲館寮生

令和4年10月12日撮影

有為会の近況

コロナ禍により、仙台支部は令和一・三年度に続き今年度も支部総会をはじめ会員交流行事を開催することができませんでした。令和四年十月末現在、感染は収まったかに見えていますが、このまま感染が収束し一日も早く元の状態に戻れることを願っています。

▲仙台支部役員体制の変更

支部長の甲國信氏が昨年十二月から体調を崩し思うような行動ができない状態にあります。ちなみに任期は二年で令和五年三月までです。六月支部役員にメール・電話で連絡を取り、副支部長の鈴木修治氏を支部長代行に選び当面支部活動を行うことを決定しました。ただし鈴木氏は現役で仕事があるので(支部長代行) 補佐として理事の遠藤光広氏を選びました。

▲仙台興譲館の近況

コロナ禍が始まって以来、幸いにも仙台興譲館に感染者は出ておりませんが、濃厚接触者が八月一名発生し一週間自室に隔離、その間寮母さんが食事を運び、仙台駅前でコロナ抗原検査を受け陰性という結果で解除しました。さらに11月初め一年生が部活で濃厚

接触者になり五日間隔離し、有為会本部から送られたコロナ抗原検査キットを用いて陰性を確認して解除しました。昨年は新規入寮者が少なく、寮生数が定員十五名のところこれまでで最も少ない七名にまで減少し、今年は一・二名の新入寮生が加わりましたが昨年と同じ七名の寮生で、相変わらず寮の運営に赤信号が灯るという問題が起きています。

今年の4月寮生に入寮決定に関する調査を実施しましたが、入寮を決定するにあたって保護者に勧められたものがほとんどでした。入寮生を増やすためには、高校での広報、説明会の実施・寮の様子、生活に関する情報の発信、などの意見が出されました。コロナ禍により、置賜の高校における寮の説明会の開催できません。それを補うために令和二年末、仙台興譲館の案内動画をユーチューブにアップしました。サイトには初年度は約三百五十名、今年約二百六十名の訪問者がありました。

昨年八月に山形新聞に中途入寮生募集の広告を二回掲載しましたが全く反応はなく、結局有為会から寮母給与補助の援助を受けることになりました。途中からの入寮は現在のアパートに敷金・礼金を払い一人暮らしの生活に慣れ、寮費が安くとも途中からあえて寮

に入るの難しいかもしれません。

しかし明るい兆候もあります。十一月に親と寮に見学に来た生徒が寮を気に入りは非入りたいと表明しました。母親の電話では総合選抜で合格が決まったということでした。

仙台寮も建築から三十五年経過し、建物は大地震にもビクともせず頑丈ですが、内部の設備・器具等の老朽化が見られます。一月に厨房の水道管の水漏れの修理、九月風呂のシャワーホースに黒カビがびっしり生え交換と風呂場の戸の戸車の修理、寮母室だけテレビの特定のチャンネルが映らず、衛星アンテナの設置を行いました。また市で回収するごみ袋は歩道にネットで覆っていました。カラスに食い荒らされるものが多く対策として一万円の金属製メッシュゴミボックスを通販で購入しカラスの襲撃はなくなりました。

▲会員の皆様へのお願い

支部にとって寮生不足の解消は当面する最大の課題です。寮生会とも連携し寮生の増加に努力します。コロナ禍の影響で収入が減り、家計への教育費の負担を極力抑えたい家庭は少なくないと思います。皆様の周囲に、仙台で修学を希望する学生にぜひ仙台興譲館をご案内いただきたく思います。置賜地区以外の出身者でも会員の推薦があ

れば入寮できます。関心を示された方には、ぜひ仙台興譲館に問い合わせるようにお勧めください。

▲会員異動

現在、会員数は八三名(賛助・正会員八二名、法人会員一社)です。これまで長い間会を支えて来られた会員の方が高齢となつて退会されています。今後この傾向はますます強まるのが予想されます。会員増強が課題となりますが、ここ約十年間在寮した卒業生に連絡を取り、有為会に是非加入し寮運営に援助をするよう呼びかけます。

▲支部だよりの発行

コロナ禍の下での支部からの情報発信と会員間の交流に、支部だよりは重要な役割を果たします。今年度も手作りで年二回の発行を予定しています。

(仙台支部長 甲 國信)

支部だより
原稿募集

随想、旅行記、趣味など何でも結構です。次号は6月発行予定です。是非投稿ください。

仙台支部長代行就任にあたり

仙台支部理事 鈴木 修治

この度、甲支部長の下で副支部長をさせて頂いています。よろしくお願ひ致します。微力ではありますが会員の皆様のご協力を賜りながら努めたいと考えておりますので、ご支援とご鞭撻をお願い致します。

現在、仙台支部活動は甲支部長の体調の具合によりまして活動が休止している状況にあります。今後早く再開できるようにと考えております。そんな状況にありますので代行として本部理事会にオブザーバーの立場でWEB出席させて頂いています。現在の課題は入寮希望者が少ないことです。皆様方のご協力をお願いします。私は未だに仕事を持っていないため完全には出席できないでおり、現理事の滝口館長にご負担をおかけしております。

さて私事になりますが、かれこれ30年以上も前のことです。大学卒業後に米国立衛生研究所ワシントンDCの近く(に)留学する機会がありましたので少し紹介させて頂きます。その頃は医学研究分野では分子生物学的技術が急速に発展していた時でしたので。受け入れて頂いた研究室では

分子生物学の技術と知識を学ぶことが出来ました。日本でも先進的な研究室では同様の取り組みが行われていたが、初めて行った遺伝子の塩基配列を決定するクローニングは分子生物学では全く基礎的な技術で、すでにクローニングした遺伝子がどんな役割を持つ蛋白質をコードしているのかを確認することまで行われておりました。一方ではアミノ酸からペプチド合成を自動的に出来るようになっていました。

タンパク質が抗原として活性を持つことが出来る部分を調べるため、抗原たんぱく質の一部をアミノ酸から合成したペプチドがどの程度まで短縮しても抗原となり得るのかということの研究も行われていました。以上のような技術は現在ではそれぞれ機械が自動的に結果を出してくれるようになってきています。結局私の場合には全く基礎的な研究レベルで終了してしまいました。数編の論文になっています。

研究所を離れたアメリカでの日常生活については広々とした3ベッドルームのアパートで家族5人の生活でした。子供達は平日にはエレメンタリースクールにスクールバスで通い、週末には日本語学校に通っていました。最初は言葉の理解に苦労したようでしたが、1年もすると現地の子供達と遊ぶようになり誕生会等に呼ばれたりして落ち

着いてきたように思います。2 学期制なので 6 月頃から 9 月頃まで休暇があつて、その間はサマースクールに参加したり、社会活動をしたり、また毎年フロリダで行われる私の学会に同行して旅行をしたりしてそれぞれに休暇を過ごしていました。

この留学における数々の経験はその後現在の私の仕事と生活の大きな支えとなつて来ました。

仙台支部年間行事予定

※仙台興譲館行事

12 月以降の行事は未定か中止

■ 12 月

※忘年会 (寮生会主催) (会場: 仙台興譲館)

↓ 中止

※12 月 17 日 (土) 寮生総会

■ 1 月

※1 月 8 日 (日) 第一回入寮面接

※1 月 14 日 (土) どんと祭

※新年会兼卒業寮生歓送コンパ (寮生会主催) (会場: 仙台興譲館)

↓ 中止

※2~3 月 温泉旅行又は食事会

※3 月 1 日 (水) 第二回入寮面接

※3 月 10 日 (金) 第三回入寮面接

※3 月 23 日 (木) 第四回入寮面接

※3 月 末日 寮生総会

会員異動

本田健夫さん 2 月 4 日に 90 歳で逝去されました。本田先生は仙台興譲館寮の出身です。ご冥福をお祈りいたします。

絵画の寄贈

久保の桜 源馬 和寿氏 作

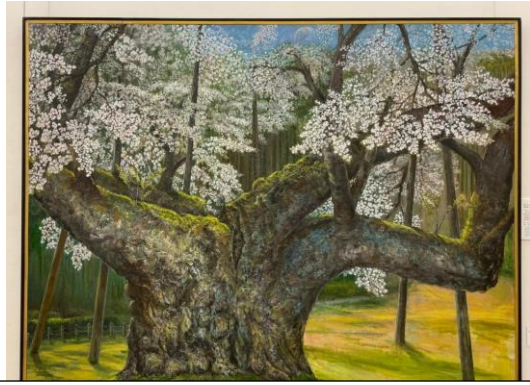
源馬氏は 1947 年生まれ、東北大学通信工学科出身で、日立製作所の技術者としてスーパーコンピューターの開発を牽引した。海外勤務が長かったが定年を前に画の道に転身し、ユニークな作品を続々と世に送り出している。近年は桜の古木の神秘的な魅力の虜となり、各地の名木を描いている。中でも**岐阜県根尾谷の淡島桜の大作は、内閣総理大臣賞**を獲得、出身の電気通信科学研究所に寄贈され、大ホールに展示されている。東北各地の名木も描いており、この画は**長井市伊佐沢の「久保の桜」(6号)**で、樹齢 1000 年を越えると言われている。

寮生諸君においては理屈抜きにこの画から桜の古木の神秘的な生命力を感じ

じ取り、連綿と続く生命の不思議に想いを馳せて頂きたい。

(寄贈) 仙台支部長 甲 國信





「淡墨桜—悠久 1500 年」 内閣総理大臣賞
150 号 電気通信科学研究所 (仙台市片平丁)

為会文化大学講演会に参加して

令和 4 年 10 月 2 日 (日) 15:00~17:00
オンライン講演会 (Zoom 利用、
自宅から聴講)

テーマ【支倉常長の足跡を訪ねて】
生誕地米沢からの発信

講師 福崎 真知子さん
(米沢有為会米沢支部諮問委員)

・米沢の宝「支倉常長」の功績紹介
①支倉常長は米沢で生まれ 7 歳まで

暮らしていた。

②伊達政宗からスペインへの命を受
け、大海原へ

③7 年に渡るスペイン・フランス・イ
タリアでの生活

④サムライとしての崇高な精神

⑤ヨーロッパに渡った日本人として
「初めての・・・」がいろいろ…

油絵のモデル、薔薇を日本に伝え
た人 (松島の円通院)

・支倉常長が訪れたスペインのトレ
ド、セゴビア、マドリッド、バルセ
ロナとの交流

主にスペインの都市と米沢市の
お互いに訪問しての交流の内容につい
ての講演でした。(詳細は有為会々誌参
照) 生誕の地と言われるのは米沢市関
地区ということですが、文書が残って
いないためはつきりしたことはわかっ
ていません。

講演が終わって一つびっくりしたこ
とがあります。昭和 20 (1945) 年
仙台興譲館寮入舎の御年 94~95 才
西村純先生が参加されていたのです、
西村先生は東北帝国大学理学部物理教
室卒業で、後に東大宇宙航空研究所教
授、国立大学共同利用機関宇宙科学研
究所所長を勤められました。
担当理事・副会長の加藤国雄さんか

らの質問に明瞭に答えておられました。

次々回は

令和 5 年 2 月 26 日 (日) 15:00~17:00
菊地 隆雄 さん (米沢有為会理事・
前鶴見大学客員教授)

テーマ【満洲】と米沢有為会
宇佐美勝夫の役割

パソコンのほか、スマートフォン等
でも参加できます。

「米沢有為会」のホームページから
参加申し込みができます。「育英・文化
事業をクリック、その中の「文科大学」
をさらにクリックすると申し込みをす
るメールアドレスが記載されています。
ぜひ試してみてください。

(仙台興譲館寮館長 滝口政彦)

寮の近隣の植物

大崎八幡神社と亀岡八幡神社

寮から北に数分歩くと大崎八幡神社、
南西に 10 分程で亀岡八幡神社に着く。
大崎八幡神社の本殿は 1604 年伊達
政宗が建立、**拝殿・本殿・石の間が国宝**
に指定されている。1 月 14 日のどん
と祭の裸参りで有名である。寮生もコ
ロナ禍の前は裸参りに参加していた。
一方、亀岡八幡神社は 1683 年 4

代藩主綱村が建立したが、社殿は 19
45 年 (昭和 20) の空襲で焼失した。
鳥居の前の案内板には「社殿と宝物の
すべてが焼失した」と記してある。古い
物は石鳥居と石段だけかなと思つたが、
調べてみると綱村奉納の備前長船義光
の名刀が**国宝に指定**されているとい
うが、どこにあるのだろうか。鳥居の前の
案内板には『おくのほそ道』の松尾芭蕉
が建立 6 年後の 1689 年訪れている
と記してあるが、大崎八幡には行つて
ないようだ。

境内にはモミ・コナラ林に混じつて
分布の北限とみられる「アラカシ」(写
真)が数本ある。アラカシは常緑広葉樹
(照葉樹)の代表的樹木であるが、ウラ
ジロガシ、アカガシ、シラカシも宮城県
を北限としている。



アラカシの葉 亀岡八幡神社

発行責任者 滝口政彦